

WAJICO

コミセンであなたと、「つながる」

05

2014 SPRING

コミセンわじろ 情報誌「ワジコ」 季刊誌

index

- わじろ元気印/ 団体紹介 ————— P02
- TOPICS ————— P04
- わじろ自慢 ————— P03
- HOW TO ————— P04
- はい！コチラ地域活動応援課！ ————— P03

第五回 下和白ホワイトファニーズ

第三回「大神神社」

「コミセンまつり」レポート！

かしこく上手に使っちゃおう！コミセン活用術 多目的ホール編



表紙写真：「下和白ホワイトファニーズ」のコミセンわじろでの練習風景

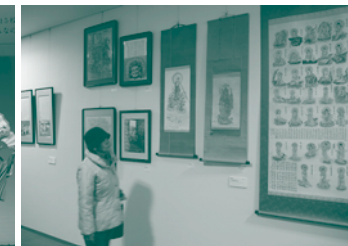
TOPICS

「コミセンまつり」レポート！

2014年2月15日、ご来場＆ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！

和白5校区で活動する団体、サークルが集結

2月15日に行なわれたコミセンまつりでは、和白5校区から24の団体・サークルが多目的ホールのステージに出演し、普段の活動を発表しました。また5Fロビーでは、各公民館で作品づくりをされているサークルの展示などもあり、会場は大変賑わっていました。



スポーツレクリエーション&体力自慢大会

3Fの体育館ではニュースポーツなどを楽しめる「レクリエーション広場」や、体力の限界に挑戦する「体力自慢大会」を開催。世代を超えた方々の参加で、会場も大変賑わいました。体力自慢大会で総合優勝したのは、現役の高校生。楽しみながらも、真剣に挑んでいました。おめでとうございます！



HOW TO

かしこく上手に使っちゃおう！コミセン活用術

地域の皆様の「こんな風に使いたいなあ」というニーズに真剣にお答えします。

多目的
ホール編

えっ！そんな使い方ができるんですか！？「広くて」使えるフロアも魅力！

音楽会や演劇、パフォーマンスなど、ステージでの発表の場としてご利用いただける5F多目的ホール。でも実はステージを使わないサークルもいらっしゃいます。ではどのような使い方をしているのでしょうか？

多目的ホールの客席は全席収納可能です。収納すれば客席部分の広いスペースが使えます。社交ダンスの練習やテーブルを並べて大きな会議の開催、学校の行事、大学や専門学校の合同説明会、飲食はできませんが結婚式の開催まで、文字通り多目的に利用OK。例えば「普段利用している会議室だと小さいな」とか、「今度は大人数で利用したいな」と思ったときは、多目的ホールのご利用を検討してみてください。

※利用予約や利用規約などございます。詳しくは受付におたずねください。

ここが
ポイント

1. 可動席で使い方自由自在！ 2. フロアも使える！



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX：092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで（多目的ホールは午後10時まで）

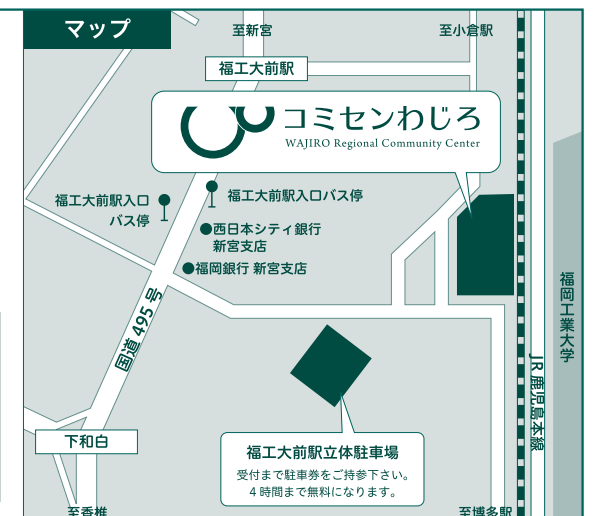
【休館日】毎月最終月曜（祝日のときは翌日）、及び年末年始（12/28～1/3）

詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <http://wajiro.info>

コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



「大神神社」のココが自慢だ！

- ◎長らく生きてきたことを祝う場所であること
- ◎日本で最古の神社のルーツを持つこと
- ◎春は桜の名所として地元に知られていること

高美台2丁目の住宅地に佇む上和白大神神社。緑豊かな境内を誇り、春は桜の名所として、地域のお出かけスポットとしても人気です。この神社は、元々は奈良県桜井市にある三輪山を御神体とする日本で最も古い神社の一つである「大神神社」（大和国一ノ宮）の分社として建てられ



① 地元の方でいっぱいになる本殿

たと言われています。大神神社の氏子さんの初老賀（41歳）、還暦（61歳）、喜寿（77歳）、米寿（88歳）、卒寿（90歳）を祝う「春の大祭」。地域のご近所さんと人生の節目の喜びを共有する素敵な伝統行事です。式典ではまず、本殿にて氏子さんたちが順番にお祓いを受け、玉串を捧げ、お参りをされます。出席できない方は、身に付けている物を代わりにお祓いしてもらいます。式典の後は、みんなで料理を持ち寄り、お互いに分けあいながらの「日籠（ひごもり）」と呼ばれる宴会で、長らく生きて来た人生を祝い、感謝を捧げます。氏子のみなさんは、お仕事などでこの地域から出られていても、41歳や60歳の時は、「日籠」のために里帰りをされるほど、この行事を楽しみにしています。



② 奉納のためのお供え物が並ぶ

いいところ わじろ 自慢

人に言いたくなる「和自の魅力」を追います！

第四回

人々の生きた歴史が刻まれる、「大神神社」

和白5校区の地域に関する意外な歴史や、素敵な自然の風景など紹介するこのコーナー。第4回目も、福岡の歴史に詳しい「東区歴史ガイドボランティア連絡会」歩・歩・歩（さんぽ）会の古賀代表に、毎年「春の大祭」が行われる地域の大切な場所を紹介いただきました。



オススメ！



エリアマップ

和白5校区内でも日籠の習慣はもうほとんど残っていないそうです。古くから続く、この温かい行事。いつまでも受け継いでいきたいですね。地域の人々が、人生の節目を祝う大神神社。わたしたちの土地、和白で年輪を重ねて来た方々の歴史が刻まれる場所だと思ふと、お参りする際の気持ちも凛としますね。



▲ 緊張感あふれる試合形式での練習



▲ 練習は学年に関係なく一緒におこなう

子どもたちが熱い火花を散らしているスポーツ、ドッジボール。下和白ホワイトファニーズは昨年度、校区大会と東区大会での優勝という2冠を飾り、子どもたちの憧れのチームとして知られています。今回は監督の占部隆さんにお話を聞きました。

団体について教えてください。

「下和白ホワイトファニーズは、下和白町内会（美和台校区）育成会のチームです。『ドッジボールをやりたい！』という有志の子どもたちが集まっています。毎年6月の校区大会、10月のアビスパの大会、2月にコミセンわじろで開催された東区のライオンズカップの3大会を見据えて、活動をしています。」

活動をはじめたきっかけは？

「以前は校区大会にだけ町内の子どもたちを集めていただけなのでなかなか勝てなくて、『や

スポーツで学べることもある。地域のみんなで勝利をめざす子どもたちのドッジボールチーム

第5回——下和白ホワイトファニーズ

「最初には勝たない」と思っていたのが始まりです。大きく動いたのは平成22年6月の校区大会の後です。ゴールデンウィーク明けに練習を始めていても勝てない、ならばチームを立ち上げてきっちり練習して挑もうという話が出てきました。

最初は外部から監督を呼んでくる予定だったんです。私は素人なので、補佐的役割だったんですが、監督を見つけることができなかったため、私がやることになりました。とはいえ、知識ゼロだったので、まずは勉強に行きました。そんな状態から始めているものだから、昨年度、優勝旗を2本も持ち帰れたのは、本当に嬉しかったですね。」

特徴はどんなところでしょうか？

「練習での交流を通して下級生が上級生に憧れを持つ、それから普段の登下校の時は、逆に上級生が下級生を誘って一緒に学校に行くなど、学年の違う子た

ちとつながりができるのは、大きな意味があると思います。ドッジボールは『チーム力』がとて大事なスポーツなので、そういう積み重ねがあるからこそ、強いチームになっているのかもしれません。」

今後の活動を教えてください

「大会で決勝に進出したチームは、オーダー表にそって、ひとりひとり名前を呼ばれるんです。選手にとって、それは一番名誉なこと、その経験をすると『また呼ばれたい。僕も私も呼ばれたい』と思うみたいです。そんな思いで、練習以外の日にも自主的に練習しているメンバーもたくさんいます。私たちはそんな一生懸命な子どもたちの姿を見るのが楽しみです、少し手助けをしているだけです。」

▼ チームメンバーと監督の占部さん



【今回の活動団体の情報】

下和白ホワイトファニーズ

対象：下和白町内会育成会の子どもたち

コミセンわじろでも定期的に練習があります。興味がある方はおつなぎしますので、コミセンわじろまでお問合せください。

「自分もドッジボールをやりたい！」という方

他にもコミセンで練習しているドッジボールチームがあります。参加・見学したい方は、受付までお問合せください。

「はい！コチラ地域活動応援課！」

今回のテーマ Ⅲ コミセンわじろで、「地域活動応援課」が始まりました！

コミセンわじろで地域相談員が活動を始めて丸2年が経ちました。3年目を迎えるこの春からは、「地域活動応援課」にパワーアップしてますますみなさまの地域活動を応援します！地域を「つなぐ」「提案する」「知る（把握する）」目線で、コミセンわじろのスタッフ全員が地域を応援します。もちろん今まで通り、地域のご相談もお受けいたします！みなさまのお越しをお待ちしています。

※広報や団体活動についての相談は、事前に応援課までお電話ください。（コミセンわじろ ☎092-608-8480）



あなたを…
応援したい！